

まちライブラリー@ブックハウスカフェ

フランス語翻訳家・まちライブラリー主催 橋爪 千代子様

ワイン・ワイン・ワインの 「まちライブラリー@ブックハウスカフェ」

「まちライブラリー」とは、「誰でも始められる私設図書館」「本を通して人と出会いうまちの図書館」です。

最初のまちライブラリーは、2011年に大阪で誕生し、現在は全国各地に1220ほどあります。日本の公立図書館の数が約3350館なので、まちライブラリーは10年ちょっとで公立図書館の3分の1以上設立されたことになります。今も毎月のように増え続けています。

開設されている場所は、自宅、商業施設、学校、オフィス、寺、駅、高齢者施設、公園、病院などで、運営には個人、NPOや商店街などの団体、企業、行政など様々な人や団体が関わっています。

このまちライブラリーを最初に始めたのは、当時森ビルの社員だった磯井純充氏です。本を軸としたこの文化活動を提唱されながら、大学院博士課程でこのまちライブラリーの研究をされ、その集大成が『まちライブラリーの研究 「個」が主役になれる社会的資本づくり』(みすず書房 2024年2月)として本にまとめられています。

まちライブラリー開設はとても簡単で、ネット上の届け出書に必要事項を入力し送信すれば、2~3日後には事務局から開設許可の返信が届きます。運営方法は、それぞれの開設者が自由に決められます。運営者の内訳は個人が58%と一番多く、私が運営している神保町の「まちライブラリー@ブックハウスカフェ」も個人の運営です。が、私ひとりでできる訳ではなく、今本義子店主、茅野由紀店長、お店のスタッフ、そしてお店に集まって来られる方々の多大な協力のもと、様々なイベントを開催しています。大半のまちライブラリーは本の貸し出しをしていますが、ブックハウスカフェは書店なのでその営業を妨げないように、むしろ書店の収益に繋がるように、本の貸し出しはせずにイベント中心の運営を行っています。開設のきっかけは、2020年春のコロナでした。2020年3月に公立図書館の司書の仕事を辞めた私は、同年3月にボローニャの絵本原画展に行く予定でした。が、渡航が不可能に。そしてただでさえ不況が続いている出版業界がコロナでさらに追い打ちがかかっている様を見たことにより、まちライブラリーを開設したら、ほんの少しひ何かお役に立てるのではないかと思いついたのです。大型人気絵本店のブックハウスカフェ内に、まちライブラリーという私的な活動をお願いするのは少し気が引けましたが、今本義子店主が快く許可してくださり大変嬉しかったです。

この春、開設してから6年目になります。今、振り返りますと、まちライブラリー提唱者磯井氏の「「個」が主役になれる社会的資本づくり」という言葉と理念に心から頷くものがあります。そしてそれを私自身の言葉で言いかえれば、私はまちライブラリーは、「ワイン・ワイン・ワインの世界」だと感じています。ビジネスでは

ないのでギブ・アンド・テイクではなく、福祉活動ではないのでギブ・アンド・ギブでもありません。もちろんテイク・アンド・テイクでは決してなく、その場にいる人、関わった人誰もが何らかのメリットが得られる世界です。それは収益だったり、本や誰かとの予期せぬ出会いだったり、心の喜びや安らぎだったりと様々です。その場その時によって、その人によって得るものは違いますが、誰もが何かを同時にワインする場なのです。

そして間違いない、このまちライブラリー@ブックハウスカフェ活動において一番大きな喜びをいただいているのは運営者の私自身です。

まちライブラリーは、社会福祉や社会貢献を目的とした存在ではありませんが、人と人が繋がって優しく豊かな社会を作り上げているという点においては、貴ロータリークラブと一致する部分も多いかと思います。

近年の社会状況はとても変化が激しく、また辛く悲しいニュースも多いです。が、どんな時代であっても、本という文化にふれながら人と人が交流することは、私たちの人生を豊かにして助けてくれることには変わりありません。

ロータリークラブの皆さまと、まちライブラリーとともに、お茶の水をさらに発展させていくことができましたら、こんな嬉しいことはありません。

まちライブラリー@ブックハウスカフェの具体的なイベント内容をお知りになりたい方は、こちらのサイトをご覧くださいませ。

<https://www.facebook.com/profile.php?id=100064856106058>

全国各地のまちライブラリーをお知りになりたい方は、まちライブラリー全体のHPをご覧くださいませ。

<https://machi-library.org/>

参考図書：

『まちライブラリーのつくり方』

磯井純充著 学芸出版社 2015年1月

『「まちライブラリー」の研究 「個」が主役になれる社会的資本づくり』

磯井純充著 みすず書房 2024年2月

